

日工グループの2022年度連結業績は売上高が397億円、事業別構成比はAP関連が43.7%（2021年度：47.1%）、BP関連が28.0%（同27.9%）、環境及び搬送関連が7.3%（同7.8%）、その他が21.0%（同17.1%）となりました。このうち海外は日工上海での売上げが大きく、全体の14.7%（同12.2%）を占

めました。セグメント別の売上高伸び率はAP関連が原材料高による道路舗装会社の設備投資低迷により2021年度比で5.4%減、BP関連は生コン市況の安定で同2.5%増、環境及び搬送関連は同4.3%増、その他は宇部興機の連結子会社化寄与などから同25.0%増となりました。

